



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

主日勤務 執事 クララ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話03-3431-2822 FAX 03-3434-5698

E-mail:st-andrew.tko@nssk.org

電話礼拝 03-3431-0250

Web:http://www.st-andrew-tokyo.com

復活節第6主日 2024年5月5日

礼拝案内

↑午前7時30分 聖餐式

(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式・説教：司祭 卓志雄

聖歌 199 492 497

↑午後9時15分

こどもとともにささげる礼拝

聖歌 199 492 497

↑午前10時30分 聖餐式

(午前10時10分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式:司祭 卓志雄

入堂聖歌 199

参入 3頁 (162頁)

清めの祈り 3頁 (162頁)

キリエ 4頁 (163頁)

大栄光の歌 4頁 (164頁)

特禱

全能の神よ、罪人の制御できない心を治められる方はあなたのほかにはありません。どうかわたしたちに、主の戒めを喜び、主の約束を慕う恵みを与え、移り変わりの多いこの世において、常に心を変えることのない喜びに置くことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

み言葉

使徒言行録 10章 44-48節

詩編 詩 98編

使徒書 Iヨハ5章 1-6節

福音書前歌 488

福音書 ヨハネ 15章 9-17節

説教 司祭 卓志雄

ニケヤ信経 9頁 (166頁)

<諸報告>

代禱 (週報2面)	8頁 (168頁)
懺悔	9頁 (170頁)
聖餐	
平和の挨拶	10頁 (171頁)
奉献聖歌	492
奉献	10頁 (172頁)
感謝聖別 [I] / [II]	11 (173/176)頁
陪餐	17頁 (180頁)
陪餐聖歌	545
感謝	19頁 (182頁)
祝福	19頁 (183頁)
派遣	
退堂聖歌	497

↑午後5時 夕の礼拝

詩 34 シラ 43:1-12,27-33 ヤコ 1:2-8,16:18

聖歌 215 司式：司祭 卓志雄

礼拝参加にあたって

- ※礼拝は教会ホームページより動画で配信されています。(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)
- ※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に依りて各自ご判断ください。
- ※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。
- ※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。
- ※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。
- ※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に進みます。
- ※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。
- ※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。
- ※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。
- ※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声をおかけください。

本日の代祷 <敬称略>

一同立つ。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、クララ 佐久間恵子執事 トマス 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸主教)]

聖アンデレ主教座聖堂、 教区事務所、

聖オルバン教会 (マイケル・D・モイアー司祭)

東京聖マリア教会、正義と平和協議会、正平協加盟の諸団体

[東日本宣教協働区(北海道・東北・北関東・東京教区)]

榛名聖公会 (聖堂聖別記念日 5月9日)

[日本聖公会 (首座主教ルカ武藤謙一主教)]

すべてのこどもたちのため

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

モンクトン 聖ヤコブ教会

ギャリソン・フォレスト 聖トマス教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

アカバ 船員のためのミッション・聖パウロ・聖ペテロ教会

[全世界の聖公会

(ジャスティン・ウェルビー カンタベリー大主教)]

ブラジル聖公会のため

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

聖書協会世界連盟の日 (UBS Day-5月9日)、

日本聖書協会のはたらきを強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒、こと

にわたしたちの主教 フランシスコ・ザビエルを導き、み名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに

一致させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに

中東やウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和と和解の実現のため

日本国と世界各国・地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください。

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに

家族、友人、同僚、心にかけている人びと

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと

洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人

また入信の志願者が与えられるため

この地域で生活し、働いている人びと

生命 (いのち) の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと (浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、聖公会野宿者支援活動・渋谷)

5月の代祷・信施奉献先となっている働き・団体 (教区こどもたちの活動のため/東京教区 SS ネットワーク)、(教区中高生世代活動のため/教区中高生キャンプ準備会)、(カルト問題キリスト教連絡会の働きのため/カルト問題キリスト教連絡会 (日本基督教団内))、(アジア・エキュメニカル週間 (5.12~18) /日本キリスト教協議会 (NCC))

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代^{かみ}禱^{なや}者^{ひと} 神^{かな}よ、悩^{ひと}む人^{ひと}、悲^{びょうき}しむ人^{ひと}、病^{ます}気^{ひと}の人^{ひと}、貧^{ひと}し
人^{ひと}、そ^たの^{わざわ}他^{なか}災^{ひと}いの中^{ひと}にある人^{ひと}びと、こ^{こと}に

感^{かん}染^{せん}症^{しょう}の収^{しゅう}束^{しゆ}のため

[病^{びょう}床^{しょう}にある人 (=別紙参照)]

北^{きた}陸^{りく}の震^{しん}災^{さい}の被^ひ災^{さい}者^{しや}、世^よ界^{かい}各^{かく}地^ちの自^じ然^{ぜん}災^{さい}害^{がい}の被^ひ害^{がい}
のた^{ため}困^{くわん}難^{なん}な状^{じょう}況^{きやう}に^{ある}人^{ひと}びと
住^すむ場^{ばう}所^{じよ}を^あ追^おわ^れた^た人^{ひと}びと、自^じ由^{ゆう}を^う奪^うわ^れ拘^く束^{しゆ}さ
れ^てい^る人^{ひと}びと

戦^{せん}争^{じゆう}や暴^{ぼう}力^{りき}、犯^{はん}罪^{ざい}や差^さ別^{べつ}に^{苦しむ}人^{ひと}びと、
を^{かえり}顧^{かん}み、み^{ちから}力^{ちから}を^{あた}与^よえ^て、勇^{ゆう}気^きと希^き望^{ぼう}を^ま増^まし^{くわ}加^かえ、主^{しゆ}
の^{すく}救^{きう}い^の喜^{よろこ}び^に導^{みちび}いて^{くだ}さ^いい

会^{かい}衆^{しゆ} 主^{しゆ}よ、お^お聞^きき^{くだ}さ^い

<逝去者のため>

代^{かみ}禱^よ者^{ひと} 神^{かみ}よ、世^よを^さ去^きつた^{ひと}すべ^{ひと}て^{ひと}の^{ひと}人^{ひと}、こ^{こと}に
そ^{それ}れ^ぞれ^れが^覚え^る逝^し去^{しよ}者^{しや}

[今^{こん}週^{しゅう}逝^し去^{しよ}の^{きん}念^{ねん}日^{にち}を^{むか}え^る人 (=別紙参照)]

暴^{ぼう}力^{りき}や犯^{はん}罪^{ざい}、災^{さい}害^{がい}の犠^ぎ牲^{せい}とな^なつた^{ひと}人^{ひと}

を^{かえり}顧^{かん}み、彼^{かれ}ら^の上^{うへ}に^{しゆ}主^{しゆ}の^{あい}愛^{あい}の^み旨^ねを^な成^とし^て遂^とげ^てく^ださ^い。わ^わた^たし^たち^は、世^よ々^よに^{しゆ}主^{しゆ}の^{あかし}証^{あかし}人^{あかし}た^ちに^{あた}与^{あた}え^られ^た
主^{しゆ}の^{めぐ}恵^{めぐ}み^のゆ^ゆえ^に、み^な名^なを^たた^えま^す。ど^どう^うか^か、わ^わた^たし^たち^も、彼^{かれ}ら^の交^まわ^りを^{たも}保^{たも}ち、と^とも^もに^{くに}み^{くに}国^{くに}の^{えい}栄^{えい}光^{こう}
に^あず^あか^から^せて^{くだ}さ^い

一^{いっ}同^{どう} 主^{しゆ}よ、こ^これ^れら^のこ^こと^とを^み子^こイ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト
に^よつ^つて^てお^お願^{ねん}い^いた^たし^ます ア^あー^あメ^めン

<お知らせ>

- ◇ 主日礼拝でチャントを用いず、聖霊降臨日まで祈りは唱えるようにします。
- ◇ “教会に JAZZ が来た！X XI” — チケットの販売が始まりました。チラシをご覧ください。
- ◇ 礼拝でのご奉仕（聖書朗読、代禱、その他）への参加・ご協力をお願いします。聖堂内受付付近の表にご記名ください。
- ◇ 礼拝後の黙想のあと、有志での聖堂のお掃除をしています。清掃後の座席の整列にもご協力をよろしくお願いいたします。
- ◇ 聖堂の扉は、日中（朝8時頃から夕方5時頃まで）開いています。個人の祈りや黙想が可能です。
- ◇ 聖堂の様子は、動画配信されています。聖アンデレ教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。また主日・週日の礼拝は、上の動画配信のほか、礼拝電話(03-3431-0250)から音声を聴くことができます。
- ◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。
聖アンデレ教会広報チャンネルで検索
- ◇ 聖アンデレ教会フェイスブックページから、折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。
フェイスブックで **聖アンデレ教会**で検索
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会まで遠慮なくご連絡ください。
- ◇ 祈禱書の改定作業等に併せて、礼拝で使用する聖書と詩編・聖書日課が変更になりました。詳細・問い合わせは教役者まで。

本日・今週の予定

5日(日) 復活節第6主日

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

13時 チャント練習 / 13時半 BSSAC

6日(月) 7時半 礼拝

使 16:11-15 詩 149:1-5 ヨハ 15:26-16:4

7日(火) 7時半 礼拝

使 16:22-34 詩 138 ヨハ 16:5-11

卓司祭 終日在室

8日(水)

使 17:15,22-18:1 詩 148:1-2,11-14 ヨハ 16:12-15

管区総会下見

9日(木) 昇天日 7時半 礼拝

使 1:1-11 詩 47 エフェ 1:15-23 ルカ 24:44-53

10日(金) 7時半 礼拝

使 18:9-18 詩 47:1-6 ヨハ 16:20-23

卓司祭 終日在室

11日(土) 7時半 礼拝

使 18:22-28 詩 47:1-2,7-9 ヨハ 16:23-28

5月12日(日) 復活節第7主日(昇天後主日)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式 使 1:15-17,21-26 詩 1
I ヨハ 5:9-13 ヨハ 17:6-19
聖歌 187, 401, 377, 239, 189
17時 夕の礼拝 詩 19,46 エゼ 3:16-27
へブ 12:18-29 聖歌 390

卓司祭 聖ミカエル教会

今週のメッセージ

イエス様が弟子たちの足を洗った後に行われた「最後の晩餐」の途中、最後の遺言のような言葉を弟子たちに話されます。ヨハネによる福音書13章から始まるいわゆる「告別説教」を通して「新しい掟」すなわち愛し合うことを弟子たちに促している箇所です。

教会形成のために必要なものは愛し合うことであると、イエス様の福音を宣べ伝える教会の宣教とは愛し合うことであると語られました。愛し合うことって教会においてはあまりにも聞き慣れている言葉です。しかし抽象的な言葉なのでわかるようでわからなくもあります。そのために具体的なイエス様の行動に注目する必要があります。今日の福音書の前に弟子たちの足を洗いながら愛し合うことについてイエス様は自ら行動を通して説明しました。十字架の上の受難を前にしてイエス様は愛のきわみをあらわすために、弟子たちの前にひざまずき、彼らの足を洗うのです。

2000年前の人々は素足にサンダルを履いていましたので、足はいつも土やほこりで汚れていました。しかも、人の足を洗うのは、当時は奴隷の仕事でした。それなのにイエス様は、弟子たちの足を洗い始めました。そこで弟子の中には、「わたしの足を決して洗わないでほしい」と願う者もいました。しかしイエス様は、12人全員の足を洗われました。そして弟子たちに語られました。「主であり、教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互いに足を洗い合うべきである。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ」。イエス・キリストは、身をもって弟子たちに、「互いに足を洗い合う」よう、手本を示されたのです。

わたしたちは人生を歩みながら疲れます。足は汚くなり、傷つきます。主の福音を宣べ伝えようとしても足が汚れて、疲れて、傷ついて歩んで行くことができない。諦めたくもなる。しかしイエス様はわたしたちの足が汚いといって何にもなさらない方ではありません。わたしたちは、自分の足が汚いと認め、疲れたと認め、傷ついたらと認め、イエス様に自分の足を差し出すことが必要です。イエス様はわたしたちの足を洗ってくださいます。優しくなだめてくださいます。イエス様によってわたしたちは力づけられ、励まされ、癒され立ち上がることが出来るようになります。歩きます、神のため、隣人のため。イエス様に洗っていただくことで完結してはなりません。イエス様が足を洗ってくださいましたように、わたしたちも隣り人の足を洗うことが求められています。世の不条理によって疲れ、傷つき、汚れてしまった隣り人の足を綺麗に洗い、優しくなだめることがいわゆる宣教という営みです。互いに足を洗いあうことを通してわたしたちはイエス様の愛を宣べ伝えることができ、イエス様と一つとなることができるのではないのでしょうか。

(司祭 卓 志雄)